
殺人恣意、思惟

秋月

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

殺人恣意、思惟

【Nコード】

N63840

【作者名】

秋月

【あらすじ】

タイトルの通り、殺人の恣意（勝手な）思惟（考え）です。ひとり語り口調で進みます。詩のようなものです。

愛なんて言葉に置き換えるにはあまりにも深すぎる感情だから
いつそ殺して血の一滴までも全て俺のものにしてしまいたい

深い海に引き込まれ

目の冴える蒼を見せ付けられる

燃え広がる溶岩の赤

梅雨の輝く緑の森

君を想った全ての時間は鮮やかな色彩を飾っていた

光も届かない朔の夜

一匹の蛍が舞い降りて俺の傍にやってきた

「なあ、どうすればよかったんだろう？」

君だった肉の塊の前でそつと眩き消えた声

蛍が聞いた？

それとも君が・・・？

愛なんて言葉に置き換えるほど俺の感情は成熟してなかった

好き、じゃ足りない

愛・・・でもない

ならいつたい・・・？

そう、例えるならきつとそれは狂おしいほどの独占欲

俺を拒んだ君の声

欲しかった視線は離れてゆき

遙か遠くを見つめている

後に覚えているのはどの色よりも鮮やかな赤

ぬめりとまとわり落ちていく

「ああ、やっと手に入れた・・・」
狂おしいほどの独占欲が俺を縛って放さなかった

愛と言うための要素が俺の感情には足りなくて
考えて考えて導く答え

何が足りない？

いったい何が？

目を閉じて思い出すのは鮮明な君の笑顔だった

「なんだ・・・そうか、そういう事か」

足りなかったのはたった一つの君への感情

全てが余るほど多すぎて最後のひとつに気づかなかった

足りなかった最後の想いはきつと赦す気持ちだろう

君だけが欲しかった

その為には手段すら厭わない

手を伸ばして抱きしめてそのまま放そうとしなかった

・・・できなかった

例えば君は俺以外の誰かに笑いかける

それすらも赦せないほど俺の感情は未熟だった

想いは狂気と表裏一体

俺も例に漏れることなく持て余した感情を君に向ける

一瞬世界が赤く染まり目の前を風のように通り過ぎる

気がついたときに残っていたのは君をかたちどっていた蠟人形

それすらも全て欲しかったんだ

時が過ぎても君は変わらない

俺の中では何一つ爪の先まであの日のまま

湧き上がる欲望のまま君だった一部を手にとった

口に含んで味わってみる

「・・・存外何も味はしないな・・・」

赤

あか・・・

口いっぱい広がる無味無臭の色は俺の中まで染め上げる
最後に残ったのは漆黒の闇

錆びついた血の匂い

色すら霞んで何も見えない

わかってる全部理解できていた

君を殺したあの日の俺は確かに今の俺と同じ

君は消えた

俺が消した

確かにこの手で切り刻んだ

泣き叫ぶ君の声だつて耳に焼きつき残っている

肉の感触

血の温かさ

涙に霞んだ君の瞳

全部夢に見るほど覚えている

君の笑顔が好きだったのに俺がそれを壊してしまった

身勝手な願いは永遠に叶わず俺の身を蝕むのだろう

「君に・・・会いたい・・・」

自ら閉ざした未来に向けてたつた一言呟いた

(後書き)

文章の内容としては、さまざまな解釈をしてもらえるところらしいです。

突発的に思いついた言葉を書き綴り、それをパソコンでまとめたものなので。

タイトルの恣意、思惟は言葉の響きがよかったので付けてみました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6384o/>

殺人恣意、思惟

2010年11月1日04時53分発行